

# 第19回生薬漢方製剤の微生物および異物汚染対策

## ならびに品質管理に関するシンポジウム

＜趣旨＞食品業界においてはここ数年、様々な食品偽装問題が世の中を賑わしている。特に最近では中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害、農薬或いはアフラトキシンの汚染米の問題、そして有害物質メラミンが添加された中国乳業メーカー製造牛乳を原料とした乳製品の大々的な回収騒ぎ等々、枚挙に暇が無い。国の内外で食の安全・安心が求められている。そのためには関係業界で携わる人々の品質向上への努力はもとより、食品の生産から流通・小売に至るまでのトレーサビリティの確立が重要である。

天産品を原料とする生薬や生薬製剤、漢方製剤についても品質確保の基本理念は同様であるが、医薬品としての品質を担保するには、さらに厳しい品質管理体制が必要とされる。特に生薬は、残留農薬や微生物に関するリスク管理が求められる。しかし、我国における生薬の供給のほとんどを海外、特に中国に依存せざるを得ない現状があり、また、中国国内においても薬用植物の栽培化やエキス（製剤）の製造等において生産や製造形態も徐々に変革されようとしている。さらに、生薬を扱う業界の再編の動きもあって、従来のように安定した品質供給がどのようになるか、注視する必要がある。

今回のシンポジウムでは、①国立医薬品食品衛生研究所生薬部から、特に第15改正日本薬局方第二追補の改正点を中心に、国際調和、生薬の品質評価に関する最新の話題等をご紹介していただく予定である。次いで、②業界で集約した微生物限度試験法に係わるアンケート結果、③農薬関係では、農薬分析の専門家から、生薬中の農薬分析の課題と残留農薬の実態調査等について最新の話題を提供していただく。また、④四川大地震がもたらした生薬の供給実態を中心に生薬の最新レポート。それに、微生物試験の専門の立場から、⑤生薬、生薬製剤の微生物試験法と限度値の国際間比較を、さらに、⑥電子線滅菌に関しては、今後の食品や生薬への照射の可否が気になるところであるが、今回は照射された生薬の検知方法に関する話題を提供していただく予定である。積極的な討論を期待する。

以上、産官学から専門分野の多彩な講師陣を迎え、特に今回は国際的な観点を加味して生薬漢方製剤の品質をより多面的に検証しようと考え、シンポジウムを企画した。関係各位の多数のご参加を切望する。

(担当：横山 浩、企画：木村捷二郎、坂上吉一、清水袈裟光、新津和明)

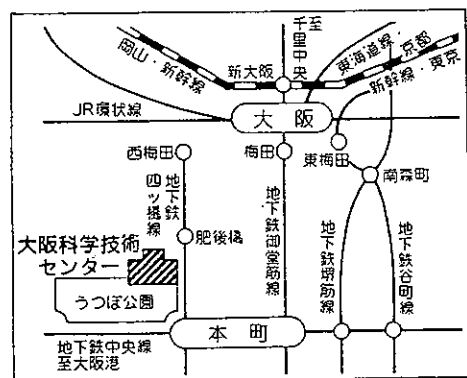
開催日：平成20年12月8日(金) 13:15~16:50

場所：大阪科学技術センター404号室 (〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4)

主催：日本防菌防黴学会

参加申込：右頁申込書にご記入のうえ、FAX  
でお申込みください。

参加費：会員 5,000円  
非会員 6,000円  
(資料代、税込み)



＜交通＞  
新大阪から/地下鉄御堂筋線本町下車徒歩7分  
大阪駅から/地下鉄四ツ橋線本町下車徒歩3分

参加費は当日払いです。事前受付はできません

定員になり次第締め切ります。

◆開会の辞 横山 浩 (元大阪府立公衆衛生研究所) (13:15~13:20)

座長：横山 浩(元 大阪府立公衆衛生研究所)

1. 特別講演：最近の生薬行政の動き (13:20~14:10)

—生薬関連分野における第15改正日本薬局方第二追補の改正点を中心に—

国立医薬品食品衛生研究所生薬部第一室長 川原 信夫

座長：清水袈裟光 (ヘンシコウジャパン株)

2. 微生物限度試験法に係る日本漢方生薬製剤協会のアンケート結果 (14:10~14:40)

日本漢方生薬製剤協会 小太郎漢方製薬(株)研究所品質分析課課長 吉川 眞一

3. 生薬およびハーブ中の残留農薬の実態 (14:40~15:10)

日本エコテック(株)取締役社長補佐 西澤 秀男

—休憩(15:10~15:20)—

座長：新津和明(株)ツムラ分析センター 環境生物化学部

4. 生薬の生産・供給の実態 (15:20~15:50)

(株)柴田生薬部課長 長谷川裕紀

5. 生薬、生薬製剤の微生物試験法と限度値の国際間比較 (15:50~16:20)

ヘンシコウジャパン(株)学術部長 清水袈裟光

座長：木村捷二郎((財)原子力安全技術センター)

6. 「照射生薬の検知について—電子スピン共鳴 (ESR) 法を主体として—」(16:20~16:50)

大阪薬科大学環境分析学研究室 山沖 留美

◆閉会の辞 横山 浩 (16:50 終了)

＜申込先＞日本防菌防黴学会 550-0005 大阪市西区西本町1-13-38(新興産ビル)

TEL.06-6538-2166 FAX.06-6538-2169

FAX(06-6538-2169)でお申込みください。

### 第19回生薬漢方製剤の微生物および異物汚染対策ならびに品質管理に関するシンポジウム 申込書

★会員種(該当に○)

会員 (維持・賛助・正会員)  
会員外 (協賛・非会員)

★申込書は1枚1人ご記入ください。  
複数名参加される場合は、コピー  
願います。

平成 年 月 日

〒	
貴住所 (連絡先)	
貴社(校)名	
参加者名 (代表者)	殿
	FAX

「参加証」等の返送に使用します  
楷書体でご記入ください